

SDGsへの取り組み



SDGsは2015年に国連が新たに設定した2030年に向けた「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals)です。国際社会の共通課題に対する17の目標とそれに対応する169のターゲットから構成されており、当社でも以下のような取り組みを行っています。

「環境」に配慮した企業活動を行なうとともに、ZEH住宅の普及に取り組みます。

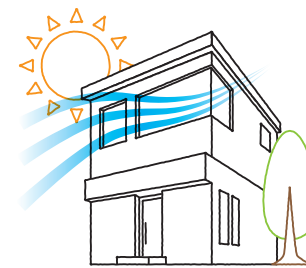


「働き方改革」に取り組み、従業員や提携企業が働きやすい職場環境をつくれます。



株式会社 アップハウジング

Address 〒532-0036
大阪府大阪市淀川区三津屋中3-11-21
Phone 06-6303-2255
FAX 06-6303-2256
URL <https://up-housing.jp>



新しい住宅のカタチ Passive Design

太陽光、通気などの自然エネルギーを活用できるように、建物や空間の形状、方向、開口部の位置などを考慮し、断熱性能などを向上させ、冷暖房の需要を減らすことでエネルギー消費を削減するPassive Design (パッシブデザイン)。エネルギーを自給自足する環境にやさしい住宅を実現し、快適な居住環境を提供します。



こたえをつくる。
UPHOUSING

エネルギーを自給自足する
そんな住宅をご存知ですか？

自然で快適な全館空調を実現します。

住宅には常時開放したままの換気口や、コンセントボックス内部など、普段気づかない隙間が数多く存在します。これらの隙間からの空気の漏れが多くなれば実質的な断熱性能を損なっていきます。

私たちは高い施工精度で一般的な住宅とは違った高気密な住まいを実現し、同じ断熱性能の住宅と比較して実質的な断熱効果に大きな差を提供しています。



HEAT20という基準は、快適で健康的な住まいを実現するために、断熱性能と暖房エネルギーの関係について、3つのグレードを提案しています。

住まいの冷暖房の考え方には、各部屋を廊下で仕切った間取り（間歇暖房^{※1)}と、住まい全体が一体となるような間取り（全館暖房）の2つがあります。住まいの断熱性能等級を等級4からHEAT20の断熱等級G1にアップすると、間歇暖房の場合にはエネルギーの軽減が約40%になりますが、全館暖房の場合には暖房負担が約1.3倍に増えてしまい、省エネになりません。そこで、HEAT20の断熱等級をG2にアップすることで、同等の暖房負荷^{※2)}でも住まい全体を暖かく快適にすることができます。

※1) 間歇暖房…必要に応じて暖房をつけたり消したりする運転 ※2) 暖房負荷…暖房期に室温を一定基準を保つのに必要なエネルギー

断熱性能と室温の維持に必要なエネルギーの関係:平成28年省エネ基準からの暖房負荷軽減

断熱性能		断熱性能等級4 間歇暖房・全館暖房との比較	
断熱等級	UA値	間歇暖房	全館(連続)暖房
HEAT20 G3	0.26	約75%軽減	約50%軽減
HEAT20 G2 (等級6)	0.46	約55%軽減	断熱性能等級4と同等
HEAT20 G1	0.56	約40%軽減	断熱性能等級4の約1.3倍
省エネ基準 断熱性能等級4	0.87	断熱性能等級4	断熱性能等級4の約2.2倍

01

パッシブデザインという新しい住宅設計

日本には四季があります。

季節の変化に調和し快適な生活をおくるための住宅。

真夏の暑さ、真冬の寒さから生活を守る住宅。

パッシブデザインは、自然の美しさと共に暮らすことができる、

優しく心地良い空間を創り出すための方法です。

建物や空間の形状、方向、

窓やドアの位置、断熱や換気などの設備、

そして周辺の自然環境など、

様々な要素が組み合わさって、

自然のリズムに合わせて調整された

快適な空間が生まれます。

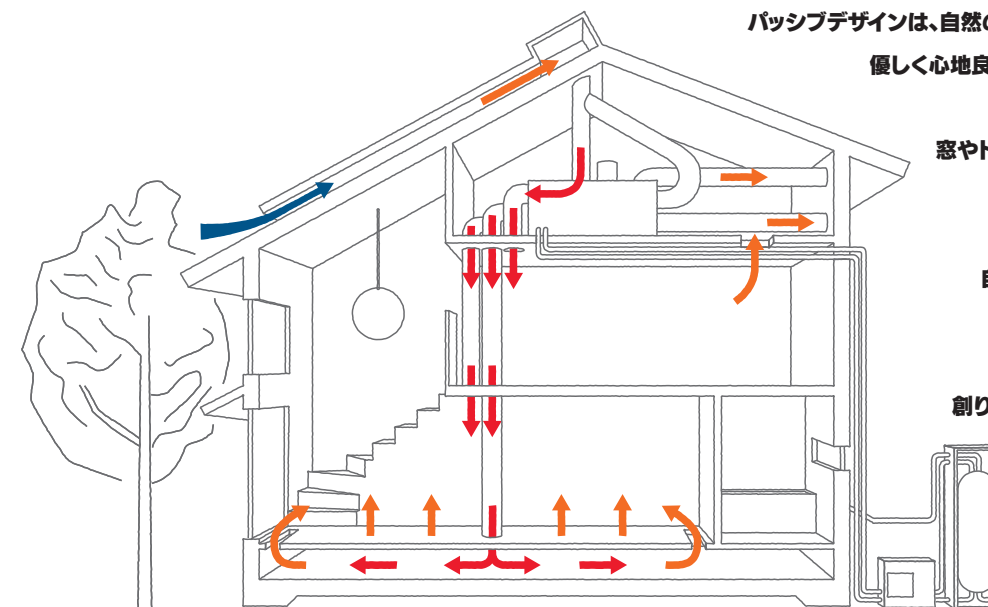
パッシブデザインによって

創り出された空間は、人々に自然と共に

過ごすことの豊かさを伝え、

心地よい環境での暮らしを

サポートします。



高気密のメリット

湿気、乾燥した空気の流入が防げ湿度管理ができるようになる

湿度管理ができることで、カビ・ダニなどの発生がおさえられる

熱の漏れ、侵入が少なくなるので、冷暖房効率が上がり節約になる

計画的に換気ができ常に新鮮な空気の循環が可能になる

遮音性が高くなり静かな室内環境になる

高断熱のメリット

結露の発生が抑えられるので、壁や床、天井の劣化がおさえられる

カビ・ダニなどの発生もおさえられ、健康的な環境が実現できる

外気温の影響を受けにくくなるので、快適な温度に室内を保てる

各居室間での温度差が少なくなり、ヒートショックをおさえられる

高性能住宅は長期的にみて経済的。

経済的な負担が少ない住まい。

**アップハウジングが提案する住宅は、
経済的にみても高性能です。**

住宅購入は、人生最大の買い物と言えます。

心地良く、健康的に安心して暮らせることはもちろん、
経済的な負担が大きい過ぎないことも大切です。

私たちは、光熱費をおさえることで支出負担を軽減し、
長期的に見て経済的な住宅をご提案しています。

■ 月額支払額の参考例比較

施工会社	大手HM仕様	当社標準仕様	一般的な仕様
建物金額	5000万円	2500万円	2100万円
ローン月額	130,000円	66,000円	55,000円
光熱費月額	6,000円	6,000円	32,000円
合計	136,000円	72,000円	87,000円

02

住宅に望むことは安全と安心。

毎日を快適に、安心して住み続けられる家を目指して。

■ 耐震・耐風性能で、あらゆる自然災害に打ち勝つ当社の建物構造。

住宅性能評価（「住宅の品質確保の促進等に関する法律（品確法）」に基づく「住宅性能表示制度」による評価制度）では、住宅に必要な基本性能を「10項目」に区分し、それぞれを等級という形でランク付けすることで、住宅に詳しくない人でも分かりやすく住宅性能の比較ができるようになっています。

当社の標準仕様は、10項目の中で特に重要だと判断した4項目に対して、最高等級を取得し、阪神・淡路大震災級の数百年に一度発生する地震の1.5倍の地震力や、瞬間最大風速50m/s程度の500年に一度程度発生する暴風でも、倒壊しないように強度を設計しています。

当社の住宅性能評価

表示項目		等級	評価内容
1) 構造の安定	耐震性能	最高等級 ※1	地震や風等の力が加わった時の建物全体の強さ ※1プランによっては、耐震性能は等級2となる場合があります。 ※2地域によって基準風速値が異なるため、耐風性能が等級1となる場合があります。
	耐風性能	最高等級 ※2	
2) 火災時の安全	感知警報装置設置等級 耐火等級（開口部以外）		火災の早期発見のしやすさや建物の燃えにくさ
	耐風性能		
3) 劣化の軽減		最高等級	建物の劣化（木材の腐朽等）のしにくさ
4) 維持管理への配慮		最高等級	給排水管とガス管の日常における点検・清掃・補修のしやすさ
5) 温熱環境	断熱性能	最高等級	外壁や窓の断熱化の程度
	一次エネルギー消費量	最高等級 ※3 ※4	
6) 空気環境	内装材のホルムアルデヒド発散量		室内の空気の高浄さ
7) 光・視環境	比率（%）で表示 ※等級表示なし		日照や採光を得る開口部面積の多さ
8) 音環境		※5	居室のサッシ等の遮音性能 ※5音環境は希望する方だけが性能評価を受ける選択項目です。
9) 高齢者等への配慮			バリアフリーの程度
10) 防犯に関すること	区分ごとに表示 ※等級表示なし		開口部の侵入防止対策

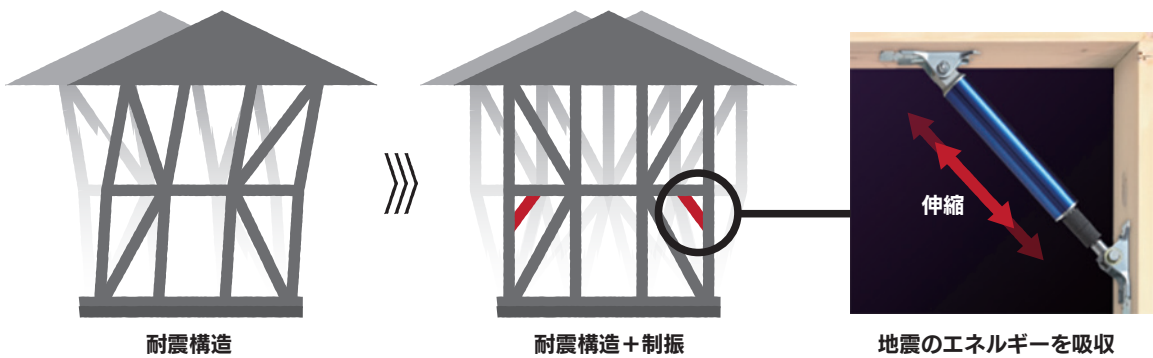
For safety and protection of your family and home.

大切な家族との暮らしを守るために。

■ 「耐震」に「制振」をプラスすることで、さらなる安心を。

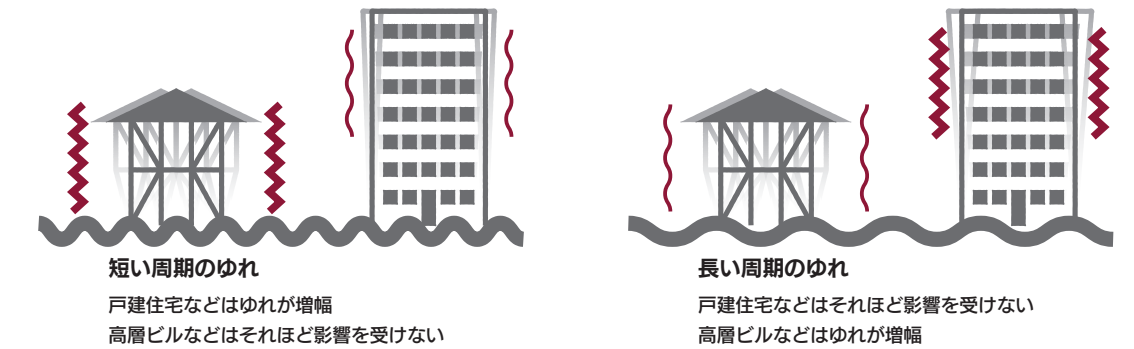
当社では、従来の耐震性能に加えて、MER SYSTEMを採用していただくことで、制振性能をプラスし、より安全な木造建築をご提案しています。

制震装置MER System Cross Typeは、日本制震システムとヤマハ発動機グループ企業である、ヤマハモーターハイドロリックシステムが共同開発し、建物に伝わる地震エネルギーを約48%吸収することで耐震性能を向上させます。



建物には固有周期と呼ばれる揺れやすい周期が存在し、地震の周期と一致すると揺れが増幅されます。これを共振現象といいます。阪神淡路大震災や熊本地震等において建物の倒壊の原因の一つとして共振現象があげられています。

制振は長周期から短周期のあらゆる地震波に対応し、効果にバラつきがありません。



日本の水道水は100%安全ではありません

アップハウジングでは、健康な生活を過ごしていただくために「セントラル浄水器」の設置をおすすめしています。

日本の水道水は高水準で安全とされていますが残留塩素や水道管内の鉄さびなどの長期的な摂取による影響で、健康を損なう恐れがあるとも言われています。

キッチンの蛇口には浄水器を設置している家庭は多いですが、キッチンでの使用は全体の18%にしか過ぎず、洗顔やお風呂など経皮吸収される水が健康に悪影響を及ぼすことがあります。

セントラル浄水器を設置し、健康に悪影響をもたらす残留塩素や鉄さびを除去した安心・安全な水を全ての蛇口から使用し、経皮吸収をなくしたことで、アトピーなどが改善された事例もあります。



狭小住宅の魅力を最大限に。

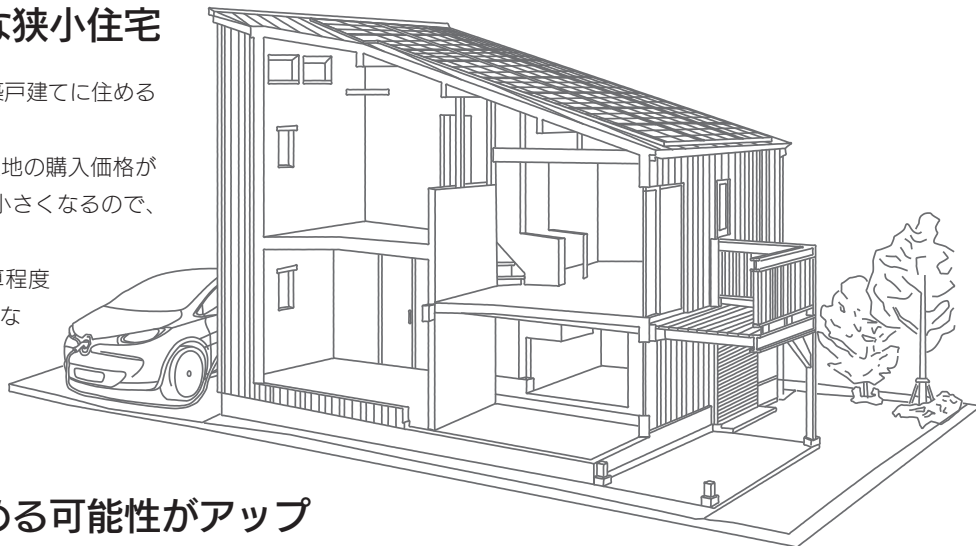
生活に最低限必要な広さが確保されながらも
コストパフォーマンスに優れた住宅に。

■ 良い狭小住宅には経験とアイデアが必要。

一般的な土地に建築物を建てる場合とは異なり、狭小地に建築物を建てるためには、適切な技術や経験が必要です。
例えば、トイレを階段の下に配置することや、スキップフロア(中二階)を設置することは、限られた土地を最大限に活用するために役立つ方法ですが、それらを実現するには、専門知識、豊富な経験、そして創造的なアイデアが必要です。
当社は、これまでの経験に基づいた独自のノウハウを活かし、デザイン性や機能性に優れ、住み心地の良い狭小地住宅を提供しています。

■ リーズナブルな狭小住宅

手ごろな価格でおしゃれな新築戸建てに住める
点が狭小地住宅の魅力です。
小さい土地の購入ですので、土地の購入価格が
安く済み、また、建てる建物が小さくなるので、
建築費用も抑えられます。
そのため、中古住宅購入の予算程度
でも、狭小地住宅ならおしゃれな
新築戸建てに住める可能性が
高くなります。



■ 希望の街に住める可能性がアップ

狭小地住宅は、予算を抑えることができるため、「憧れの街」で住宅を購入する可能性が高くなります。
「どのような場所に住むか？」ということは、ライフスタイルにおいて、とても重要になりますが、希望する環境で暮らせるようになるのも狭小地住宅の魅力の1つです。

■ 省エネルギーな狭小住宅をさらに経済的に。

狭小住宅は面積も狭いために、一般的には省エネ住宅であると言われています。
当社では更にHEAT20基準の高気密(C値0.9以下)、高断熱(断熱性能G2グレード)の高性能住宅をご提案。
快適に暮らしながら、環境にも優しく、お財布にも優しい住まいが実現します。

●太陽光発電をプラス

高気密・高断熱を実現し、更に太陽光発電(5kw以上)の発電をプラスすることで、光熱費を大幅に削減することが可能になります。

●さらにV2Hを利用することで光熱費の削減も可能

V2Hとは、電気自動車やプラグインハイブリッド車に搭載されたバッテリーに蓄えられた電力を、住宅の電力として利用するシステムのこと。車を家に接続し、電力を分配することで、家庭内の照明や家電製品を動かすことができます。

Create homes that fit the unique characteristics of the land.

土地の個性にあわせた住まいを。



新築住宅の場合、敬遠されたりあきらめられたりする狭小地。

しかし、そもそも土地とは一つとして同じものではなく、

さまざまな形や大きさが存在しているものです。

これらの土地を「いかに最大限活用するか？」を考え、

さまざまなアイデアや工夫を施すことで、

その個性を活かしたオリジナリティあふれる

住まいにする魅力が狭小住宅にあります。

立地条件が悪くても、安心して暮らせる住心地の良い

高性能住宅の実現は狭小住宅でも可能です。

■ エネルギーの自給自足で、光熱費がほとんどかからない住宅に。

近年の光熱費の高騰はまだまだ続くと考えられています。弊社では、ZEHを超える住宅をご提供できます。

電気料金の比較

2022年3月～2023年2月

高性能住宅(Heat20G2グレード+太陽光発電 5kw 全館空調) 床面積 107m ² オール電化 夫婦+子供3人													
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
電気料金(使用分)	21,598	13,341	10,456	9,267	12,361	12,173	15,280	14,476	13,996	22,104	35,461	21,764	202,277
入電額(充電分)	△7,306	△9,405	△9,557	△9,443	△8,721	△7,635	△7,822	△7,258	△6,118	△6,308	△3,667	△2,109	△85,349
実質電気料金	14,292	3,936	899	-176	3,640	4,538	7,414	7,218	7,878	15,796	31,794	19,655	116,928

年間平均(月額) 9,744円

一般住宅(標準仕様) 床面積 107m ² 夫婦+子供3人													
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
電気料金(使用分)	29,198	27,153	23,309	18,213	16,806	26,995	29,275	31,822	22,202	18,678	24,214	38,146	306,011
ガス料金	9,979	8,364	7,165	6,193	4,968	4,650	4,103	4,730	6,547	7,063	12,201	9,203	85,166
実質電気料金	39,177	35,517	30,474	24,406	21,774	31,645	33,378	36,552	28,749	25,741	36,415	47,349	391,177

年間平均(月額) 32,598円

高性能住宅(Heat20G2グレード+太陽光発電 5kw)だと、月額光熱費がこんなにお得！

一般住宅(標準使用) 32,000円程度 ➡ 高性能住宅(HEAT20G2グレード+太陽光発電 5kw) 9,700円程度

高性能(HEAT20G2グレード+太陽光発電 5kw)にすることで、建築費は3,000,000円上がります※注1)ので、ローン月額は約9,500円程度あがることとなりますが、月額光熱費の差額が22,300円程度になりますので、実質の月額は12,800円下がることとなります。しかも、ローンの支払が終わった後も、22,300円程度の節約は続くこととなります。

※注1) ZEH補助金の申請を行うことで、100万円の補助金をうけとった場合

一般住宅(標準使用)		高性能(HEAT20G2グレード+太陽光発電 5kw)		月々の支払いがこんなにお得 しかも、ローン返済後は 毎月22,300円の節約に。
ローン返済額	105,000円程度	+	月額光熱費 32,000円程度	
137,000円程度		+	ローン返済額 114,500円程度	
		+	月額光熱費 9,700円程度	12,800円程度 下がる
137,000円程度		+	124,200円程度	
		=	12,800円程度	

※ローンの月額は、借入金4,000万円の35年返済、光熱費は一般的な住戸としての目安です。実際は異なる場合がございます。